

April  
2017

No. 26

# 赤レンガ通信

山わさび探し

北海道  
www.pref.hokkaido.lg.jp



**春**が来ると、本州に住む人は外に出て、桜を眺めながら冷たいビールを飲みます。しかし同じ頃、北海道の大地はまだ白い雪の下で眠っています。土が顔を出すまで、まだまだ時間がかかるかもしれませんが、北海道ならではの春を楽しむ方法があります。北海道出身の親友はよく家族で山わさび掘りに行くので、先日その山わさび掘りに私と何人かの友人を誘ってくれました。私はわさびが大好きなので、早足でオホーツクの紋別へ向かいました。

北海道に自生する山わさびは普通のわさびより1.5倍ほど辛いと言われています。早春のため、まだ数十センチの雪が残っていますが、その下に山わさびが生えていますので、スコップと努力があれば取れるものなのです。

私たちは、友人の家族の知り合いの畑に案内してもらいました。来年も生えてくるように取れば、好きなだけ持って帰っていいよと言われました。暖かい服を着込んで、スコップを手に真っ白な畑に入り込みました。雪は意外と深かったし、山わさびはどこに生えているかは目で見て分かりませんでした。とりあえず、土が見えるまで穴を掘って、あるかないかチェックします。何もなかったら、またゼロから穴を掘るしかなかったのです。

最初はたくさんのかわいそうな植物を抜いてしまったうえ、なかなか山わさびを見つけることができませんでした。永遠に穴を掘るのかと思い始めた頃に、やっと山わさび発見！

その後次から次へと見つけて、皆で盛り上がりました。数分で山わさび海鮮丼を作れるだけの量が取れました。スコップを持って、穴だらけの畑を後にして、暖かい家へ向かいました。

山わさび探しでお腹がぺこぺこになっていましたが、食べる前に山わさび醤油おろしを作らなければなりません。タマネギを切るのが大変と思っている人は是非山わさびおろしに挑戦してみてください！目が痛くなったので、交代でやりました。鮭、ホタテ、マグロ、トビコ等をごはんに乗せて、その上にかなりの量の山わさびをのせました。私はベジタリアン(肉や魚を食べない)なので、魚の代わりにアボカドと豆腐を使いましたが、山わさびとの相性はとてもよくて、おいしかったです。

自分の手で土から取ったものを食べることは、この上なく贅沢なことだと思います。チャンスがあれば、是非山わさびを食べてみてください。このような経験ができ、やはり北海道はとても素晴らしいところだと思います。真っ白な畑へ行って、新鮮な山わさびを取れるなんて、北海道以外どこで経験できるでしょう？次のアドベンチャーを楽しみにしています！

エミリー・シュースター

# 山わさび探しの様子



永遠に感じた穴掘り



山わさび発見！



山わさびおろしに挑戦して、涙が出る。



もう少しで完了！

海鮮丼の  
材料



新鮮なお刺身  
と大量の山わ  
さびおろし

# 北海道 JET スポットライト

北海道にはアメリカ、カナダ、シンガポール、中国、韓国、ドイツ、フランス、ロシアなどから約250人のJETプログラム参加者(外国語指導助手、国際交流員、スポーツ国際交流員)がいます。赤レンガ通信ではたくさんの国々からやって来て現在北海道で暮らす人たちのストーリーを伝えていきます！



## なぜ北海道へ来たのですか。

**A** 仕事のために北海道へ来ました。日本で留学したことがあり、チャンスがあればぜひ戻ってきたいと思っていました。ロシアのサンクトペテルブルグ市にある大学の四年生だった時、将来のキャリアについて考えていたところ、JETプログラムの外国語指導助手・国際交流員にロシア人が申し込むことができることを知りました。さっそくJETプログラムに申し込んだところ、合格することができ、旭川市へやってきました。今年で旭川市の国際交流員の3年目になりますが、本当にこの仕事が気に入っています。

## これまでの北海道での経験について教えてください。

**A** 国際交流員として様々な活動に従事しています。また、自分でイベントを企画し、開催することもできます。翻訳や通訳、訪問団のサポートなどの他にも、ロシア文化イベントや国際交流イベント、料理教室、学校訪問、出張なども行っています。このような働きやすい職場環境を与えてくれる上司や担当者、同僚に大変感謝しています。

仕事以外でも、北海道でたくさんの初めての経験ができました。例えば、去年の冬、アルペンスキーを始めました。教えてくれた先生たちのおかげで、スキー検定2級に合格することができました。スノーボードにも初めて挑戦し、合気道も2年前に始めました。また、ロープウェイに乗って、活火山の旭岳の頂上まで初めて登りました。その息を呑むほど美しい景色を見て、今度はロープウェイを使わないで登ろうと思いました。

北海道は美しい自然に恵まれているので、できるだけたくさんの場所を訪れようと思っています。富良野の有名なラベンダー畑、美瑛の青い池、知床半島、釧路湿原、阿寒湖、摩周湖、函館の桜、その他訪れた多くの場所は忘れられない印象を残してくれましたが、見たいところがまだまだたくさんあります。これからも新しいアドベンチャーを楽しみにしています！

## これまで一番印象に残っていることは何ですか。

**A** 二つあります。一つ目は雪の多さとアパートや学校の寒さ、二つ目は自然です。私はロシア西部に住

んでいましたが、それまでの人生でこんな量の雪は見たことありませんでした。人口35万人の旭川市内でも2メートルの高さの雪山は当たり前です。それなのに、地元の人にとっては、昔に比べて、最近では雪の量は少なく、ほとんど雪がないくらいだそうです。そして北海道の寒さは特に印象深いです。各ビルには全て暖房が設置されているのに、冬はビルの中にも寒いんです。これにはまだ慣れることができません。

二つ目は北海道の大自然だと思います。北海道と言えば、私はいつも自然を思い浮かべます。花がとても好きです。富良野の広大なラベンダーや様々な花の花畑はとても感動的なのですが、個人的には滝上町の芝桜はいつまでも忘れられないものです。斜面にどこまでも広がるフワフワなピンク色のカーペットを想像してみてください。滝上町を訪れた時、芝桜のカーペットに寝転がりたくてたまりませんでした。

## 旭川市の好きなところはどこですか。

**A** 景色です！特に忠別川沿いの景色や、忠別橋とクリスタル橋からの眺めが好きです。自宅への帰り道に、橋からの夕焼けを眺めたり、その驚くほど美しい風景の写真を撮ったりして楽しんでいます。それから、旭山動物園のペンギンの散歩も好きです。冬に旭川を訪れる人には、いつもそのペンギンの散歩をお勧めしています。まるでレッドカーペットを歩く有名人のシャッターチャンスを狙っているような何千人もの観客に囲まれてべたべたと歩くペンギンたちは皆の心を奪います。

## 他に伝えたいことはありますか。

**A** 新しい経験ができ、素敵な人に出会い、好きな仕事ができる素晴らしい機会を与えてくれたJETプログラムに感謝しています。北海道は単に美しい自然も見られる場所というだけでなく、私にとっては、たくさんの優しい人に出会い、その人たちから様々なことを学べる場所です。

マリア・セメノバはロシア出身で、3年目の国際交流員です。ロシアの大学で日本語を勉強し、北海道で2番目に大きい都市、旭川市の国際交流員として働くために、日本へやってきました。ロシア語、英語、日本語も話せる、まさかのトライリンガルです！

